

平成29年度第7回農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー
平成29年12月5日(火) 13:30～16:30



【日本で唯一の畑ガイドが案内する ガイドツアー会社】

【講師：(株)いただきますカンパニー

代表取締役 い だ ぶ み こ 井田 芙美子 氏 (北海道帯広市)】

開催結果

-
- ◆日時 平成29年12月5日(火) 13:30～16:30 (開場13時～)
 - ◆場所 (一財)都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう) 会議室
 - ◆主催 (一財)都市農山漁村交流活性化機構
 - ◆開催概要

平成29年度第7回(通算第126回)農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナーは、「畑ガイド」という新たなビジネスを紹介します。

「畑ガイド」とは、地元シニアや移住者がガイドとなり、通常は立入禁止の畑に観光客を案内して、食や農業の魅力を伝えるサービスです。

この新ビジネスを開発したのは、北海道帯広市で株式会社いただきますカンパニーを経営する代表の井田英美子氏です。

井田さんは、札幌出身。羊飼いに become たくて帯広畜産大学への進学を機に十勝へやってきました。羊牧場での実習、農場実習など農業の勉強をして、生産現場に触れるなかで、生産そのものではなく、生産現場の魅力を伝えることに興味を持つようになり、「大学生の頃から、自分は生産者になるよりも、農業を伝える仕事に就きたいと思うようになりネイチャーガイドや十勝観光連盟で観光業に携わり、“農業”を“観光”として伝えていけないかという想いをあためていました。

野菜嫌いだった子どもが農業体験で劇的に変わったことから、畑のチカラに気づき、事業を考案し2013年3月に起業しました。

畑ガイドの説明を聞きながら広大な畑を散歩してそこで採れた作物を畑のまん中で食べるツアーです。北海道の十勝の雄大な農地・農場の中をピクニックができる楽しいツアーは、日本で唯一の畑ガイドが案内するガイドツアー会社〈いただきますカンパニー〉は、グリーン・ツーリズムの新たな担い手として大いに注目されています。

また、井田さんは、農村ツーリズムコンサルタントとして、食料の生産現場と食を学びたい人達を結ぶ企画の提案、実施の支援をしています。例えば、育プログラムへの助言、農業体験プログラムの企画、十勝の最先端農業、農業機械、選果場、生産者交流など、企業や学校関係者等の研修ツアー等の農業と食の関係者と繋がる体験を提案しています。



第7回セミナー事務局のまとめ

【日本で唯一の畑ガイドが案内するガイドツアー会社】(株)いただきますカンパニーとは一体だれがどのような思いで、活動をしているのか？そんな興味から活動の内容を調べていくうちに、これまでのグリーン・ツーリズムのように、農林漁家が中心のツアーや体験の受入とは異なり、農家は農業に専念しながら農業のこと、農村のことを代わって教え案内するガイドというサービスの斬新さに驚きました。

このサービスを開発した北海道帯広市の井田英美子さんを講師にお呼びし、「畑ガイドと行く農場ピクニック」の全容を伺いました。

普段は入ることができない農場を特別な許可を得て、専用の長靴に履き替えて、「本物の畑」を畑ガイドが案内するサービスです。大人も子供も楽しめる、美味しい、楽しい思い出ができるガイドツアーは、5月中旬から10月末まで最少催行2名から、定員40名、毎日実施しています。予約は前日までOK。ぎりぎりまで子どもの体調を心配するお母さんにも参加しやすいツアーです。

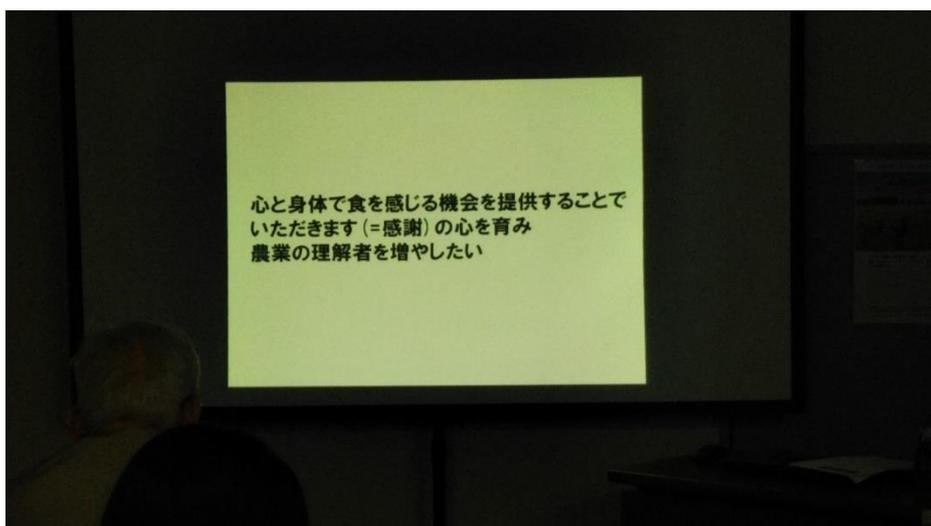
会場となる農場は、十勝管内（帯広市、根室町、音更町）の4軒の農場。

農家は利用の許可をすれば、後は専門の畑ガイドが会場設営撤去から運営、解説まですべて行います。ツアー代金は、1時間半の朝と夕のおやつ付きは、大人 3,500 円、子ども 2,000 円。昼のランチ付きは、2時間大人 3,500 円、子ども 2,000 円

お薦めする人は、北海道らしい思い出を作りたい人、十勝の美味しい恵みを味わいたい人、作物のこと、農業のことを知りたい人、広い畑の中で写真を撮りたい人、子どもに食べ物の大切さを体験させたい人をターゲットにしています。

2017 年度は、約 2,600 人の参加がありました。大手旅行会社や著名なリゾート施設からの参加申し込みは、企業研修としての参加など個人ファミリーを中心に、さまざまなニーズに応えた参加者を畑に案内しています。北海道は、外国人旅行者も来訪しますが、信頼できる旅行社と連携して外国人の受入も実施しています。

会社経営としているのは、自分だけでなく、多くの畑ガイドを育成して、農業の重要性や北海道農業生産物の理解促進を推進するためです。現在契約しているガイドは 12 名、職員は 2 名。ガイドは定年退職者や主婦、子育てが一段落し社会復帰を目指し女性など農業関係者以外が多く志願しています。**㈱いただきますカンパニー**では、この畑ガイドを育成する人材育成事業にも力を注ぎ、1 月から 3 月は座学。4～6 月は、実地研修、そして 7 月にガイドデビューと短期間にプロのガイドを育成する独自のカリキュラムを作っています。まず畑ガイドとは何ぞやを学び、次に農業の基礎、さらに伝え方の講座、そして最後にリスク管理を学び試験を受けます。畑ガイドの大きな特徴だと思うのが、この伝え方講座。ファミリーがメインターゲットとしている以上、子どもを如何に楽しませるかを学びます。もちろん大事なのが農家との関係、農家が何を望み、農家にとって喜ばれることは何かをしっかりとリサーチや意見交換をして、このビジネスが構築されています。代表の井田さんが子育て中のこともあり、子どもにとっての食の意味、お母さんとして安心して農業にふれあいができる方法をサービスに展開しているというのがこの事業の革新であり核心です。井田さんの思いは、「心と身体で食を感じる機会を提供することでいただきます(=感謝)の心を育み 農業の理解者を増やしたい」講師の井田さん、参加いただいた皆さんありがとうございました。





【講演者の経歴】

●井田芙美子（いだ ふみこ）氏

株式会社いただきますカンパニー 代表取締役

十勝の「ありのままの生産現場」を伝える「畑ガイド」
／消費者と生産者をつなぐ「農村ツーリズムコンサル
タント」／講演・執筆

2児の母。10歳で「生きた鶏を処理して食べる」体験
をする。出産を経て2012年3月開業、翌13年5月会
社設立。生産現場を見学できる「畑ガイドツアー」が話
題を呼び、首都圏から多くの家族旅行者が訪れ感動の
声が寄せられている。起業背景は、食を通じて子どもた
ちが未来へ生き抜くチカラを育むこと。その一心で観
光・農業の現場連携を推進してきた。「3年生が作った
今日のごはん」といった我が子の成長を伝える日々の
発信に母親層から支持が集まる。

